

令和２年度 大阪市立男女共同参画センター中央館 事業報告

指定管理者

団体名	大阪市男女共同参画推進事業体 代表者：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 構成員：サントリーパブリシティサービス株式会社、グローブシップ株式会社
主たる事務所の所在地	大阪市天王寺区上汐５丁目６番２５号
代表者	一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 理事長 槇村久子
指定期間	令和２年４月１日～令和７年３月３１日

施設概要

施設名	大阪市立男女共同参画センター中央館（クレオ大阪中央）
所在地	大阪市天王寺区上汐５丁目６番２５号
施設規模	構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 規 模：地下３階地上４階建塔屋付 建築面積：1,777.90 m ² 延床面積：7,667.76 m ²
主な施設	地下３階 駐車場 地下２階・地下１階 ホール、舞台、控室 １階 ホール（バルコニー席）、相談室 ２階 保育室、事務室 ３階 会議室、研修室、和室、交流サロン、情報・図書コーナー、研究室、展示ギャラリー ４階 クラフト調理室、セミナーホール、音楽室（多目的室）

１．指定管理業務の実施状況

（１）施設の管理運営

大阪市立男女共同参画センターの設置目的、「大阪市男女共同参画基本計画(第２次大阪市男女きらめき計画)」(以下「基本計画」という。)に基づき、男女共同参画という施策目的の実現を図る施設として、大阪市立男女共同参画センター中央館の施設運営方針を定め、その目的達成に向けた事業を行った。

（２）施設の管理・運営に関する業務

- ①施設全般の管理運営
- ②施設の総合管理業務
- ③施設の貸館運営業務
- ④利用料金の収入業務
- ⑤施設の利用キャンセルの受付・利用料金の還付業務
- ⑥「使用料の徴収及び収納事務委託契約」に基づく使用料徴収及び収納事務
- ⑦指定管理者による利用者モニタリング及び自己点検の実施
- ⑧関係機関、利用者等との会議等

新型コロナウイルス感染症への対応（以下「新型コロナ対応」という。）

令和2年4月14日から5月25日までの42日間、国の緊急事態宣言を受け、大阪市からの要請により臨時休館を行った。5月26日から感染防止対策を実施しつつ貸室業務を再開した。貸出にあたっては市の方針にしたがい、各室とも収容可能人員のおよそ半数以下の定員制限を設け、感染症防止対策を実施した。

交流サロンの利用は7月1日から、貸室と同じく座席数の制限を行ったうえで再開した。

令和3年1月13日に発出された2回目の緊急事態宣言を受け、開館時間を20時まで短縮した（令和3年1月15日から2月28日まで）。大阪府域の緊急事態宣言の解除後も、収容人員については市と協議のうえ、部屋ごとに最大収容人数を設定して供用した。

臨時休館中も「女性総合相談センター（電話・メール相談）」「男性相談（電話）」「配偶者暴力相談支援センター（電話・メール相談）」「女性チャレンジ応援拠点（電話・メール相談）」「女の子のためのクレオ保健室（LINE相談）」については、実施した。

主な感染症拡大防止対策 実施例

【職員対応】

- ・ マスク着用、手洗い、うがいの励行、出勤前の検温
- ・ 窓口対応時などにおける手指消毒の徹底

【利用者へのお願い】

- ・ 来館者への啓発・周知（館内掲示、ホームページ、事業ちらし等）
マスク着用、手洗い励行、ソーシャルディスタンスの確保等感染症防止対策の徹底、大阪府感染防止宣言ステッカーの登録および掲示、飛沫感染防止のための水洗時の便器蓋使用の推奨 など
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)の導入や大阪コロナ追跡システム登録の呼びかけ

【事業や施設運営での取り組み】

- ・ 館内共用部に手・指消毒用のアルコールボトルおよび貸室内に物品等消毒用スプレーを設置
- ・ ホール客席 1席ずつ空けて座っていただくための掲示を座席に貼付
- ・ 換気扇、空調機、扇風機、工業扇による(自動)換気、女性・男性用トイレ窓(2階)の常時開放
- ・ 受付窓口、情報・図書コーナー、交流サロン、相談ブースなど必要な箇所にアクリルボード等設置
- ・ セミナー事業等における講師用テーブルマスクの設置
- ・ 窓口で間隔をあけてお並びいただくための案内パネルの設置
- ・ テーブルなど手に触れる箇所、おもちゃ(保育室)の消毒、(不測事態に備えた)不織布マスクやフェイスガードの購入
- ・ 発熱者をスクリーニングする赤外線サーモグラフィカメラを導入し、貸出備品として利用者に提供することで多くのホール利用者に活用いただいた。

窓口対応の取り組み

緊急事態宣言やその解除にかかる大阪市からの通知に従い、利用者への電話連絡や協力要請、問合せへの説明等の対応を適切に行った。

【新型コロナウイルス感染症を理由としたキャンセル申請・還付請求の事務手続き】

- ・ 令和2年7月末までにキャンセルの申出があった令和2年度の使用料還付にかかる受付・利用料金の全額還付
- ・ 令和2年7月15日～令和3年3月31日の期間中の施設利用にあたり、収容定員の縮小や間隔の確保などの利用制限を受けている利用に対する半額還付・半額減額
- ・ 令和3年1月15日～2月28日の緊急事態宣言期間を含む施設利用に対しキャンセルがあった場合の利用料金の全額還付 等

2. 利用状況

(1) 年間利用状況

年間開館日数 267 日（臨時開館を除く）

	令和 2 年度目標	令和 2 年度実績	(参考) 令和元年度実績
利用率	69.2%	41.6%	64.6%
利用者数	—	114,472 人	405,725 人

- ・新型コロナ対応のため、臨時休館、開館時間短縮、各種イベントの中止・利用自粛に伴うキャンセルの増加が影響し、年間稼働率は 41.6%となった。感染状況の減少にともない、9 月が 55.5%、11 月が 61.6%と回復傾向にあったが、4～6 月の稼働率が大きく影響し、利用率は 23.0 ポイント、利用者数は 29 万人前年より減少する結果となった。

使用料・利用料金収入

	使用料		利用料金		件数	合計金額
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)		
令和 2 年度	4	190,820	2,038	15,364,360	2,042	15,555,180
駐車場料金			2,804	2,280,540	2,804	2,280,540
令和 3 年度	—	—	211	22,332,980	211	22,332,980
計	4	190,820	5,053	39,977,880	5,057	40,168,700

(2) 利用者モニタリング及び自己点検

①窓口スタッフの対応及び施設・設備について（施設利用者アンケート n=1,836）

内容	大変満足	概ね満足	満足度	やや不満	大変不満	不満足度
窓口スタッフの対応	73.4%	26.3%	99.7%	0.2%	0.1%	0.3%
施設・設備	68.5%	30.5%	99.0%	0.9%	0.1%	1.0%

【自由記述欄の主な記載内容】

- ・感染防止の観点から換気のため窓を開放してほしい。
- ・早く交流サロンが使用できるようになってほしい。
- ・コロナの関係で会場費割引はありがたい。
- ・窓口まで来ないと納付や本申込ができないのが不便。FAX 申込や振り込みができると良い。
- ・いつもきれいで使いやすい。
- ・扇風機設置に関してのお礼。
- ・館内各コーナーの展示がすばらしかった。
- ・色々なリクエストに対応していただきありがとうございました。
- ・コロナ禍でも使用することができ感謝します。

②聴き取りによるアンケートの実施

一堂に会しての利用者懇談会は新型コロナ対応のため取りやめ、個別の聴き取りにより実施した。

【実施期間】 令和 3 年 3 月 2 日～3 月 26 日

【対 象】 施設抽選会参加者および施設利用者(申込受付時)

【回 収 数】 106 件

【主な実施結果】

○施設の申し込み等について

- ・施設予約システムにおいて、予約・抽選・コンビニ決済で利用したいものは、約半数の方がいず

- れも利用したいとの回答であった。60代以上の方については、予約・抽選の利用希望が多かった。
- ・ホールの空いている時間をレンタルスタジオのような形で借りることができれば。
 - ・大ホールは安価なので、そのまま継続してほしい。
 - ・申込み、キャンセル手続きの簡素化を望む。
 - ・コロナ対応はすばらしい！

○団体の活動拠点としての活用について

- ・クレオでのイベント・講座等の提案、講師活動。
- ・団体同士の連携・合同でイベントの調整がしたい。
- ・定期活動の充実、勉強会の定期開催、報告会での利用。

③クレオ大阪中央運営委員会の開催

全市的な取組みを担う基幹的センターかつ地域拠点であるサテライト館として、幅広く意見や助言を求めることを目的に開催した。

【運営委員】

氏名	所属等
竹村 登茂子	【座長】ジャーナリスト、元読売新聞編集委員
上田 実千代	中小企業診断士、有限会社オフィスウエダ 代表取締役
田中 邦子	エコスペースゆう 代表
朴木 佳緒留	神戸大学名誉教授、京都教育大学監事
渡辺 和香	NPO法人女性と子育て支援グループ pokkapoka 代表
中野 泰志	大阪市市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課長
中山 忠行	大阪市市民局ダイバーシティ推進室雇用女性活躍推進課長

・第1回運営委員会

＜日 程＞ 令和2年11月19日(木) 10:00～12:00

＜主な意見＞ ・コロナ下における事業、調査研究、社会状況を見据えた事業展開等についての助言をいただいた。

・第2回運営委員会

＜日 程＞ 令和3年3月12日(金) 14:00～16:00

＜主な意見＞ ・コロナ下の事業、女の子のためのクレオ保健室事業、防災の事業、相談事業等についての助言をいただいた。

④照明器具設置部品の落下事故について

ホール舞台上部に設置している照明器具設置部品が、ホール利用中に落下する事故がありました。けが人はありませんでしたが、落下原因を調査し、再発防止策を講じました。

※大阪市より報道発表 2月1日(月)

発生日時：令和3年1月31日(日) 18:50頃

落 下 物：照明機材のコネクター部品(直径4.3センチ、重量17g、プラスチック製)

落下場所：舞台中央後方

けが人等：なし

原 因：部品のねじが外れてビニールテープ留めされているものをそのまま使用してしまったため、灯体の熱によりテープが外れて部品が落下した。

再発防止策：機材及びケーブル類の総点検を実施し、不良品については更新した。

3. 実施事業

(1) 男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供

ア 情報提供ネットワークシステム・ホームページの運営

クレオ大阪の他の4館と連携し、ホームページの運営を行った。クレオ大阪の事業や男女共同参画に関する施策の最新情報の他、調査研究報告や啓発資料、情報誌のWeb版など、学習や啓発効果を高める情報発信を行った。また、スタッフブログやフェイスブックを活用し、事業案内や事業報告など、迅速性を有する有益な情報を、随時配信・提供した。

イ 女性のチャレンジ応援サイトの運営

女性が様々な分野にチャレンジする際に役立つ情報として、起業・学習・研究、市民活動、仕事と家庭の両立、関連施設等に関する情報を提供した。

ウ 情報・図書コーナーの運営

利用者に安心してご利用いただけるように、閲覧席の間隔を広げるなどの新型コロナ対応を取りながら運営を行った。

新着図書案内の作成・配布(毎月初)、ブックフェアの開催を継続的に実施(年間27回)し、本への関心を高めるとともに利用者のニーズに応える工夫を行った。

また、一時保育つき読書タイム「本を読む日」の開催(第4水曜日)や、NPO法人てんやく絵本ふれあい文庫と連携して、てんやく絵本の貸出(1人3冊、1週間)を行うなど、利用者のすそ野を広げる取り組みを行った。

てんやく絵本は、3か月に1度50冊を入れ替えて利用者の利便を図った。(貸出実績18冊)

市民や企業、団体等からの問合せや要望に応じ、パワハラ・マタハラ・セクハラ防止、ワーク・ライフ・バランス、メンタルヘルスに関する啓発冊子や啓発DVDを提供した。

(実績：学校3件、団体1件、貸出期間3週間)



蔵書点検の実施：9月1日～9月5日(休室して開架棚部分実施)

9月8日～9月17日(開室しながら書庫等の部分実施)

貸出時間	9：30～21：30(年間開室日数：251日) 日・祝は9：30～17：00(7月から実施)
休室日	休館日：月曜日、祝休日の翌日(休日の場合は開館)、年末年始(12月29日～1月3日)、特別整理期間(9月1日～5日)

- ・新型コロナ対応を理由とする休室：4月1日～4月13日、休館 4月14日～5月25日
- ・開室時間の短縮(17時まで)5月26日～6月30日
- ・緊急事態宣言発出による開室時間の短縮(20時まで)1月15日～2月28日

① 利用実績

新規登録者数	利用者数	利用冊数	情報相談件数	ネット予約登録者数	予約冊数 (窓口・OPAC/インターネット)
352人	5,046人	17,633冊	71件	226件	1,093冊/5,561冊

② 収集資料数

内容	収集数	総数
図書	375 点	35,665 点
DVD	12 点	672 点
行政資料	73 点	10,329 点
ミニコミ誌／商業雑誌	27 誌／14 誌	

③ブックフェアの実施

主催事業や時事に対応したさまざまなテーマで、ブックフェアを実施し、利用促進を図った。

セミナー・事業関連	・男女共同参画週間 ・はじめてママの応援ブック ・多文化共生に向けて ・女の子のためのクレオ保健室	・おうちでパパの絵本読み聞かせ ・オレンジリボン・パープルリボン ・カフェ開業チャレンジ講座 ・整理・整頓・家事分担等
時事・特別テーマ	・大阪生まれ川上未映子の世界 ・防災を学ぶ ・芦田愛菜の本棚 ・大統領を動かした女性ルースベイダー ・海外で評価が高い日本の女性作家 等	・篠田節子の世界 ・子どもと学ぶやさしいLGBT ・北京女性会議から 25 年 ・ギングズバーグ

④館ニュースの発行

施設運営・事業運営に関することを発信する広報媒体として、「クレオ・ニュース」を発行した。毎月 1,000 部発行

⑤「一時保育つき読書タイム～本を読む日～」の実施

新型コロナ対応のため 6 月まで中止。

定員 5 人で再開後、毎回の申込者が 10 人を超えていることから、1 月から定員を 10 人に増やして実施。

実施回数	申込人数	参加保護者数	参加子ども数
9 回	132 人	50 人	54 人



⑥「女性チャレンジ応援拠点」での情報提供

4 階の女性チャレンジ応援拠点において、3 階の情報・図書コーナーを案内するとともに、役立つ本、最新の本や新聞記事などを情報提供し、相互の利用促進を図った。

(2) 男女共同参画社会の形成に関する講演会、講習会、研修会等の開催

ア 男女共同参画セミナー

男女共同参画社会の実現に向けて、「女性の活躍推進」「SDG s」など様々なテーマを、体系的に実施した。

「女性の活躍推進」に向けては、20 代 30 代の仕事や人生に悩む女性に向けて「先輩女性に聞く！仕事と人生のマイルール」を実施し、人生を一步前進させるアクションプランを立てる機会を提供した。「上本町 SDG s 大学」を地域の企業・団体の協力により「エシカル消費」や「LGBTQ」等のテーマで SDG s を学ぶ機会とした。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、来場とオンラインでの同時開催やオンライン開催を複数回実施し、新たな生活様式にも対応した学習機会を提供した。

受講者満足度 : 99.4%

No.	セミナー名	趣旨・ねらい	実施日 回数	応募者数 (人)	のべ受講 者数(人)
女性の活躍推進					
1	先輩女性に聞く！ 仕事と人生のマイルール (来場・オンライン)	20・30代の仕事や人生に悩む女性を対象に、ロールモデルとなる先輩女性の話を聞き、人生を一步前進させるアクションプランを立てる機会を提供。また、同世代の仲間と意見を交わし、モチベーション向上にもつなげる。	1/16 1/30 全2回	(来)15 (オ)40	(来)13 (オ)27
2	女性のための自分スタイル研究所 時間上手の手帳活用術 (オンライン)	30・40代の働く女性を対象に気軽に情報交換・ネットワーク形成を行える機会を提供する。	3/18 全1回	31	30
地域における女性の視点(地域防災活動、地域活動)					
3	第4回トライセクターリーダーシップセミナー～社会を動かすキャンペーンをつくろう！～	地域の課題・社会問題を解決するためには、トライセクター(民間・公共・市民社会)の連携が欠かせない。ワークショップを通して、自分が行政に届けたいことを話し、社会に発信するキャンペーンを考える。	10/10 10/17 全2回	38	33
4	日本語教室のこれから～多文化共生社会に向けて～	多文化共生のまちづくりに向けて、地域での日本語教室が果たす役割への期待は高まっている。日本語教室の運営に携わる方々からの報告を交えながら、最新状況について学び・情報交換する。	10/22 全1回	40	37
5	女性のための防災教室 ～今、災害が起こったら？コロナ禍の支え合い防災～	コロナ禍での新しい防災知識を学び、感染予防の視点を踏まえた共助防災について学ぶ。また、防災資源や避難所、地域組織内でのコミュニケーションやまちづくりについて考える。	3/10 全1回	18	18
6	「家庭で暮らせない子どもの今を理解する」～さとおやってなあに？～ (共催：大阪市児童福祉施設連盟)	虐待と社会的養護からみた「子どもを取り巻く現状」を伝え、里親制度について知ってもらうため里親全般について知識を学ぶ。里親が必要な児童の存在を知り、社会的養護の理解を深める。	3/13 全1回	8	10
女性に対する暴力の根絶(DV・デートDV・性暴力)					
7	傷ついた少女たちの現状と課題 ～つながりを絶たないために～ (来場・オンライン)	コロナ禍で家庭内や限られた人間関係のなかで暴力に遭遇し、不安を抱え込み孤立化を余儀なくされている若者について、現状と課題を学び、孤立させないために何ができるのかを考える。	2/28 全1回	(来)22 (オ)28	(来)17 (オ)19
固定的な性別役割分担意識の解消					
8	35歳からの始めてママ 応援講座	同じ世代や状況のママ同士で交流し、日ごろの心配事や悩みを共有しながら、いまだからこその子育ての喜びや楽しさをあらためて体感し、前向きな子育て期間を応援する。	10/16 10/23 全2回	9	13
9	じんけんシネマ 2020 (共催：ヒューライツ大阪)	女性・ジェンダー平等に関する切り口から人権について取り上げた映画を上映し、映画を通じて人権に関する日本と世界の諸課題について考える。 ① みんなの学校 12/5 ② タクシー運転手 12/5 ③ ビリーブ 未来への大逆転 12/13	12/5 12/13 全3回	162 各回定員： 50人	① 50 ② 36 ③ 50
国際的な取り組み(SDGs・海外の動向など)					
10	第5回 上本町SDGs大学 エシカルとビジネスとわたしたち	SDGs達成に向けて、ゲストスピーカーから話を聞き、参加者とディスカッションや交流を通して学ぶ機会。今回はエシカル消費について消費者の視点、ビジネスの視点の両方から考える。	10/23 全1回	27	23
11	第6回 上本町SDGs大学 LGBTQ視点で職場を変えよう (オンライン)	パワハラ防止法では、SDGs・セクシャルマイノリティへのパワハラ防止対策が義務付けられ2022年4月からは中小企業もその対象となる。LGBTQへのハラスメントがない風土づくりのために大切にしたいことについて考える。	12/16 全1回	37	27
12	第7回 上本町SDGs大学 自然と共に生きる観光地バリから学ぶ (オンライン)	バリのエコホテルの事例より、サステイナブルな暮らしや社会を考える。	2/5 全1回	20	15



日本語教室のこれから
～多文化共生社会に向けて～



第6回 上本町SDGs大学
LGBTQ視点で職場を変えよう

イ コラボ型セミナー

地域において男女がともに参画し、大阪の魅力創出や活性化につなげる活動をする方とクレオ大阪が協働して実施した。（応募11件、選定団体：TH PLANNING）

セミナー名	趣旨・ねらい	実施日	回数	受講者数 (人)
家族のための“紙もの”整理術 ～見える化して家事分担～	役所に申請する書類、領収書、取扱説明書などの整理は「見えない家事」と言われる。家族全員で共有しながら管理することで、家族の家事参加や家事分担につなげ、ワーク・ライフ・バランス実現の一助とする。	2/25	1	34

ウ 就労支援機関等と連携したセミナー

仕事に関する適性診断で、自分の特性や調書を発見し就労につなげる機会とする。

主催：大阪市しごと情報ひろばマザーズ

セミナー名	実施日	回数	応募者数	受講者数 (人)
子育てママの自己発見セミナー ～適性診断であなたに合った職業がわかる～	9/9	1	3	3

エ 地域出前セミナー

地域における男女共同参画を推進するため、下記の4区で出前セミナーを実施した。「地域防災」と「男女共同参画に関する自由テーマ」の内、各区の地域団体の依頼に応じて1回ずつ実施した。

担当区	日程	団体名	テーマ	受講者数 (人)
天王寺	11月6日	公益財団法人太平洋人材交流センター	仕事の質を高めるチームワークスキル研修	19
	2月27日	親子の食育レッスン実行委員会	防災と食育（オンライン）	23
西	8月26日	石原産業株式会社	アンガーマネジメント	26
	11月30日	つどいの広場 きらぼかひろば	アンガーマネジメント	8
中央	11月20日	中央区地域女性団体協議会・中央区役所 共催	女性と防災・減災	50
	1月20日	太陽生命株式会社	女性と人権	66
浪速	1月22日	(社福)大阪市浪速区社会福祉協議会	コミュニケーション	18
	1月27日	浪速区子ども・子育てプラザ	インターネットと人権	5

令和2年度実施状況

	事業数	実施回数	定員(人)	応募者数(人)	受講者数(人)				のべ受講者(人)			
					女性	男性	無回答	計	女性	男性	無回答	計
男女共同参画セミナー	12	17	464	495	271	103	27	401	283	108	27	418
コラボ型セミナー	1	1	20	54	30	4	0	34	30	4	0	34
就労支援機関連携セミナー	1	1	10	3	3	—	0	3	3	—	0	3
地域出前セミナー	8	8	232	215	186	29	0	215	186	29	0	215
合 計	22	27	726	767	490	136	27	653	502	141	27	670

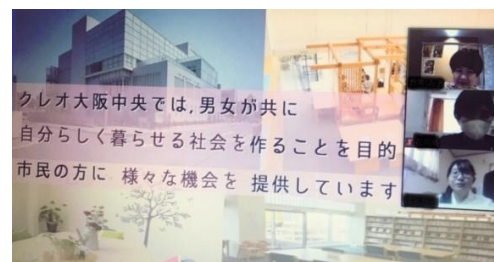
受講者の声

- ・日本語教室は、言葉だけを教える所ではないことがよくわかりました。生徒さんの生活、心の支えとなり、地域をつなぐ役割があるのだと強く思いました。ボランティア自身の視野、知識も広まる活動、私も参加したいです。(日本語教室のこれから～多文化共生社会に向けて～)
- ・素晴らしい映画でした。性差別による不条理、身に沁みます。時代の変革と共にあらゆる差別をなくしたい。法律は時代によって変わる、確かにここ数年で育休制度なども変わってきたと感じ、働きかけで変化を促すことが大切と思いました。(じんけんシネマ 2020「ビリーブ未来への大逆転」)
- ・いかに普段、同じ考えを持った人と接しているかを痛感した。多様という言葉に含まれる部分の広さを感じた。グループトークで、自分の知識や経験と他者との差が気づけて、今後の生活でいつか役立ちそう。(第6回 上本町SDGs大学 LGBTQ視点で職場を変えよう)
- ・家でも仕事のことを考えたり、言われた言葉を気にしたりして、しんどくなることがありました。自分が今そういう状況であることを認識し、それから対処していけば良いというお話を聞き、そうしてみようと思いました。(先輩女性に聞く！仕事と人生のマイルール)
- ・若年女性が法的にもいかに救われない現状であるのか大変勉強になりました。支援の難しさを感じましたが、何らかの行動を起こしていきたいと思います。(傷ついた少女たちの現状と課題～つながりを絶たないために～)
- ・家で仕事をする時間も多くなり、on・offの切り替えの難しさが悩みでした。手帳活用で、一日をデザインできるよう試行錯誤中でしたので、ヒントをたくさん頂きました。普段接している人は限られているので、新しい感覚が嬉しかったです。(女性のための自分スタイル研究所 毎日が充実する！時間上手の手帳活用術)

オ インターンシップ等の実施

大学生を対象にインターンシップ(職場実習)を受け入れた。オンラインインターンシップでは、施設PR動画制作という課題とした。クレオ大阪の役割や事業の目的を理解いただき、大学生の目線で分かりやすい動画制作ができた。

- ・オンラインインターンシップ：大学生1人
- ・追手門学院大学オンライン企業説明会：大学生22人
- ・大阪経済大学「ボランティア論」ボランティア実習：6人



カ グループ活動・ネットワーク支援事業

①自主グループ活動支援

セミナー修了生を対象に施設やノウハウの提供することでグループ活動を支援した。

- ・自主グループ「女性のための防災教室交流会」協力「女性のための防災サロン」隔月開催
- ・自主グループ「熟ママ子育ての会」(35歳からはじめてママ応援講座修了者のグループ)

②日本語教室の運営支援

在住外国人の方を対象に、日本語の読み書きを学び、また、文化交流を通じて相互理解を深める「場」としてのボランティアグループによる日本語教室の運営を支援した。

実施日：通年 毎週木曜日・午前 実施回数：19回 参加者数：607人

※新型コロナ対応のため、4月～6月、9月、1月～2月の計29回は活動を休止した。

キ 地域のグループ等との連携事業

事業名称	クレオ大阪中央フェスタ		
実施内容	施設利用グループや団体、地域の事業者などと共に作る市民協働の館まつり。 新型コロナ対応のため、実行委員会形式をとらず館主体で企画し、2日間の分散開催とした。 また、オンラインで参加できる試みとして「やってみよう♪リモートセッション with CREO」を実施し、17人の参加を得た。 ・11月20日 前夜音楽祭「ミュージカルとシネマクラシックのタベ」 ・11月21日 手作りマーケット、オーガニックバザール、フードドライブ等 上方ミュージカル「レイチェル・カーソンやめなはれDDT!」等		
参加人数等	のべ2,570人 出展者数：47団体	協働等	協賛：パイン株式会社 後援：大阪市天王寺区

参加者の声

- ・コロナ禍の中、舞台を成功させようと努力されたことに心から敬意を表します。ピアノ生演奏、手話通訳付きのお芝居、とても素晴らしかった。(ミュージカル参加者)
- ・コロナで家にこもりがちな毎日から一歩出られた感じでとても良かった。
- ・自粛は疲れますので、感染対策をして開催してくれて、本当にありがたかった。



事業名称	みんな仲間だ！フェスティバル 2020		
実施内容	「With コロナ、どう生きる？～あふれる情報とのつきあい方～」をテーマに、人をおもんばかりの社会、人としての生活が豊かになる社会について考える基調講演やトークセッション、交流会等のイベントを実行委員会形式により開催する。		
日程	12月13日 13:30～18:00	参加人数等	44人（うちオンライン4人）
協働団体	共催：自由に乾杯！フェスティバル実行委実行員会、協力：ヒューライツ大阪 委員会構成団体：(公社)アムネスティインターナショナル日本なにわグループ、 (公財)オイスカ関西支部、青年海外協力隊大阪府OB OG会等		

ク 区内で活動するグループ等との協働事業

事業名称	クレオ大阪のおはなし会		
日程	7/12・9/27・11/21・1/31・3/14	参加人数等	29組 77人
協働団体	天王寺おはなし「ぼちぼち」・絵本の会天王寺等		

事業名称	保育ボランティアと遊ぼう		
日程	8月6日	参加人数等	7組 15人
協働団体	保育ボランティアグループひまわり		

ケ 保育室開放デー

主催事業・貸室利用が比較的少なく、暑さ寒さの厳しい時期に、親子が安心して遊び・交流できる場として、保育室を一般開放した。新型コロナウイルス対応のため、2部制・定員各2組で実施。

【夏】7月30日～8月21日のうち7日間

参加者：16組36人（子ども21人、保護者18人）

【冬】2月18日～3月31日のうち8日間

参加者：7組18人（子ども10人、保護者8人）



コ 一時保育・手話通訳の実施

①一時保育 利用保護者数：62人、保育児童数：69人

②手話通訳 利用なし

（3）男女共同参画にかかわる問題に関する相談

女性の悩み相談・男性の悩み相談の案内パンフレット、ポスター及びホームページバナーを作成しPRに努めた。緊急事態宣言を受け、下記の期間は相談時間を短縮して実施した。

・4/18～5/24 女性相談16：00まで。男性相談は電話相談のみ実施。

・1/15～2/28 相談時間を20：00まで実施。

（女性の面接相談は19：00まで、男性の面接相談は20：00まで実施。）

ア 女性総合相談センター事業

女性が抱える様々の問題を整理し、適切な機関の情報提供をはじめ、相談者の自尊感情の回復、自立へとつながるようサポートを行った。

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、心に不安やストレスを抱える女性の増加が懸念されることから、1月13日から24時間受信の可能なメール相談を新規に実施した。電話相談以外に、不安や孤独感を感じる方への相談手法を展開した。

相談種別	実施日程	相談形態・件数	
一般相談	火～土／10:00～20:30 日・祝／10:00～16:00	電話 面接 メール	11,908 257 135
自立・悩み相談 （心理カウンセラー）	木・金・土／17:00～20:00 火・木・金／13:00～16:00	面接	201
からだ相談 （保健師・看護師）	火～土／10:00～20:30 日・祝／10:00～16:00	電話 面接	149 1
法律相談 （女性弁護士）	毎週金／13:00～16:00 第4金／17:00～20:00	面接	65
グループワーク等	年間2テーマ	面接	72
特設法律相談 ※普及啓発事業として実施	6月29日	電話	16
合 計			12,804

◇月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	803	907	1,092	1,066	991	990	1,183	1,167	958	1,084	859	973	12,073
面接	6	1	55	47	49	55	69	80	65	48	58	63	596
メール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	34	83	135
合計	809	908	1,147	1,113	1,040	1,045	1,252	1,247	1,023	1,150	951	1,119	12,804

◇相談内容

	生き方	こころ	からだ	労働	夫婦関係	親子関係	人間関係	人権侵害	法律	暮らし	その他	合計
電話	174	4,926	149	172	617	678	820	199	16	114	4,208	12,073
面接	45	54	57	11	151	99	31	68	66	2	12	596
メール	2	99	1	5	11	9	1	2	1	0	4	135
計	221 (1.7%)	5,079 (39.7%)	207 (1.6%)	188 (1.5%)	779 (6.1%)	786 (6.1%)	852 (6.7%)	269 (2.1%)	83 (0.6%)	116 (0.9%)	4,224 (33.0%)	12,804 (100%)

- ・相談内容からは、「こころ」に関する相談内容が 5,079 件で全体の 39.7%となっている。特に、不安や病気を抱える人が電話相談を利用していることが多い。
- ・メール相談では、相談室の閉室時間の受信時間が多く、不安な気持ちを表出することにより落ち着きを取り戻す様子がうかがえた。「些細な悩みでもいいですか？」と書かれる方も多く、メールならではの相談しやすさを増すことができた。また、相談者へは必ず返信することも、つながりを絶やさないという点で重要な役割を果たした。メール相談から電話相談や面接相談、そしてクレオ大阪の各機能（セミナーやチャレンジ応援拠点など）へつながった事例も複数あった。
- ・DVを主訴とする相談件数は 223 件、デートDVを主訴とする相談件数は 12 件、性暴力を主訴とする相談件数は 15 件、セクシュアルハラスメントを主訴とする相談は 6 件であった。背景にDVがある件数が 153 件、児童虐待がある件数が 53 件、DV・児童虐待がある件数が 21 件であった。

◇館別内訳

	中央館	子育て館	西部館	南部館	東部館	合計
一般相談	12,258	12	19	1	10	12,300
自立・悩み相談	201	0	0	0	0	201
からだ相談	150	0	0	0	0	150
法律相談	81	0	0	0	0	81
グループワーク等	72	0	0	0	0	72
合 計	12,762	12	19	1	10	12,804

◇グループワーク

同じ悩みや体験を持つ人が集い、語り、共感しながらエンパワメントするために実施した。

事業名	内容	受講者数
こころ・からだ・動作	エゴグラム、自己表現法、臨床動作法を体験する。 (全 5 回)	55 人
暴力により心に傷を抱えた女性のためのグループワーク	DV・虐待等の体験を持つ女性を対象に、誰にも言えなかった気持ちを話し合う。(全 4 回)	17 人

◇アンケートの実施

面接相談利用者アンケート 実施期間:令和2年10月13日(火)～令和3年3月31日(水)
満足度(肯定的な意見)98% (回収数106枚)

- イ 女性のための特設電話法律相談(令和2年度男女共同参画普及啓発事業)の運営に協力
男女共同参画週間における男女共同参画普及啓発事業の実施にあたり、女性総合相談センターの電話相談専用番号ならびに実施場所の相談室の使用について協力した。

日時:令和2年6月29日(月) 10:00～18:00

受付件数:27件、うち法律相談件数16件

ウ 男性相談

子育て館において毎週金曜日及び、月1回(第3日曜日)に実施した。

◇相談内容別件数

	生き方	こころ	からだ	労働	夫婦関係	親子関係	人間関係	人権侵害	法律	暮らし	その他	合計
電話	32	18	17	7	44	14	74	5	0	6	14	231
面接	33	11	2	12	19	4	5	10	0	0	0	96
合計	65	29	19	19	63	18	79	15	0	6	14	327

- ・相談内容では、DVを主訴とするのは、13件(4.0%)となっている。また、相談の背景にDVが認められるものは、17件(5.2%)である。

◇月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	20	21	28	18	23	18	23	15	19	15	12	19	231
面接	0	0	8	13	10	9	11	10	10	6	8	11	96
合計	20	21	36	31	33	27	34	25	29	21	20	30	327

◇アンケートの実施

面接相談利用者アンケート 実施期間:令和2年10月13日(火)～令和3年3月31日(水)
満足度(肯定的な意見)100% (回収数54枚)

エ 配偶者暴力相談支援センター(新規)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛によりDVの増加が懸念されたため、新規事業としてDVメール相談を5月7日から実施した。配偶者が在宅していることにより電話でのDV相談が難しい状況下の方に対して、電話相談に代わる相談手法を展開した。電話を使わない若い世代のニーズにも対応することができた。

①相談件数 ※面接は大阪市職員実施分を除く

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	104	79	93	78	72	80	95	59	39	60	71	56	886
面接	8	10	9	3	2	2	4	4	2	6	5	1	56
メール	—	24	14	19	17	31	20	35	14	101	56	79	410
合計	112	113	116	100	91	113	119	98	55	167	132	136	1,352

②DVメール相談 年代別件数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
件数	6	52	187	101	34	6	6	0	18	410

オ 女性チャレンジ応援拠点(新規)

地域活動を始めたい、または現在活動している女性・団体などを対象に、来室、電話、メールにて相談対応やアドバイスを行った。休室や利用人数制限などもあり、利用人数は当初目標の40%となった。

5月の臨時休館中にはオンライン（Zoom）での開室を行った。事業では内容や状況に応じて、オンラインでの実施を行うとともに、利用者ニーズに対応しながら運営を行った。利用者アンケート満足度は97%であった。

開室状況 (年間開室日数 217日)	火・金／10:30～12:30 木・土／13:00～15:00 水／18:00～20:00
-----------------------	---

利用目的		主な内容	利用者数
個別相談		- 企画書や事業計画書を作成したのでアドバイスがほしい - 活動したいテーマはあるが、何から始めていいかわからない - コロナの影響もあり、活動の今後の方向性を相談したい	82 (うち起業相談24)
情報提供		- 開室時間等の情報提供 - 起業するときの相談先を知りたい - 地域の活動団体を知りたい	179
交流・その他		- 活動の報告 - 活動紹介やイベントのチラシの持参	75
運営事業	ミニサロン (8回)	- 最初の一步から始める Zoom 体験講座 (来場) - 来年からやるぞ！オンラインで講座をしたい人のシェア会 (オンライン) - 女性のための防災サロン (来場) - 知らないと損する！食育で起業するコツ (オンライン)	36
	交流 (7回)	オンライン開室	31
	ワークショップ (4回)	- 未来志向の活動見直しセミナー (来場・オンライン) - 子育てママとパパの社会科見学&交流会 (オンライン) - 共感を生み出す広報スキルアップセミナー (来場・オンライン)	72
利用者数			475

カ 女の子のためのクレオ保健室(新規)

若年層女子の「居場所づくり」のため、10代女子対象に、敷居の低いLINE相談、および来室による相談を毎月第3土曜日 15:30～18:30 に実施した。からだの悩みや友人、交際相手との関係の悩みなど、20代の女性の助産師が在室し対応した。

館内および館外掲示版でのポスター掲示や男女共同参画情報誌『クレオ』に記事掲載するとともに、情報・図書コーナー内に「保健室コーナー」を設置するなど事業のPRに努めた。

開室日時	1月16日	2月20日 2月27日(臨時)	3月20日	合計
相談件数(うち来室)	0(0)	8(0)	2(0)	10(0)

※LINE相談に緊急案件が寄せられたため、2月27日に臨時開室の対応を行った。

※LINE友だち登録：51人(3月末時点)

キ 子育て活動支援館における相談との連携

女性相談・子育て相談と、各相談事業の現状や課題等について意見交換、情報共有の機会を設け相互の連携を図った。

ク 相談室等の有効活用

しごと情報ひろばマザーズ 出張就労相談：毎週水曜日 14:00～16:00 年間実績 15 件

(4) 男女共同参画社会の形成に関する啓発

ア 男女共同参画情報誌「クレオ」の作成

男女共同参画施策情報と男女共同参画セミナーなどの事業紹介、コロナ禍で孤立するDV被害者やSDGsなどタイムリーな情報提供を行った。男女共同参画をわかりやすく解説したクレオ大阪中央研究室コラム「データで読む男女共同参画」や各ページ内容をアピールする写真や図表を掲載し、新たな紙面づくりを進めた。

仕様：A4版、12頁、フルカラー、年4回発行、15,000部

	主な内容
6月発行号	・特集：コロナ禍で孤立するDV被害者 ・大阪市女性活躍リーディングカンパニー市長表彰 等
8月発行号	・特集：女性が当たり前にいる それがダイバーシティ ・クレオ大阪ならではのユニークな企画「本を読む日」の紹介 等
11月発行号	・特集：ジェンダー平等実現に向けてあなたは何かができますか？ ・はじめてのSDGs あなたのお買い物は世界を変える力を持っている 等
2月発行号	・特集：困難を抱える若年女性への支援と現状と課題 ・はじめてのSDGs LGBT視点からみたSDGs 等

イ 男女共同参画についての普及啓発

クレオ大阪を拠点として活動するグループ・団体・個人が、ネットワークを広げ、交流できる機会や場づくりを支援する事業として実施した。

①グルーブルーム・交流サロンの運営 利用者数：22,446人

②メールボックス メールボックス登録団体数：37団体

ウ 地域における男女共同参画社会の形成に向けた多様な主体との連携協力

◇展示ギャラリーの活用事業（応募・実施1団体）

展示ギャラリーを活用し、公募によりグループ団体等の活動発表の場を提供した。

・夕陽丘うえまち写真コンテスト（一心寺文化事業財団）

エ 大阪市の施策や様々な記念週間等に合わせた啓発

①男女共同参画週間・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせた啓発（6月・11月）

・国の令和2年度キャッチコピーのポスター掲示、男女共同参画週間ノボリを館周辺に設置

・「女性の対する暴力をなくす運動」期間にノボリを館周辺に設置

②大阪市男女共同参画普及啓発事業への協力

・「女性に対する暴力をなくす運動」（11月）期間中に啓発物品「あぶらとり紙」を配布

・ホームページでの啓発動画の公開（令和3年1月）

③そのほかのトピックを展示物等で啓発

(1 階玄関ホール、3 階廊下壁面、情報・図書コーナー)

- ・SDGs に関する展示
- ・児童虐待防止に関する展示
- ・イクメン写真啓発冊子(フォトブック)の配布
- ・ストップ! コロナ差別をテーマとした「シトラスリボン」キャンペーンのポスターの掲示



オ ICTを活用した啓発

- ・クレオ大阪ホームページによる啓発
- ・女性のチャレンジ応援サイトによる啓発
- ・大阪市「未来ヘレディGO」サイトへの情報提供
- ・クレオ大阪子育て館の「おおさか子育てネット」との相互リンク

(5) 男女共同参画社会の形成に関する調査及び研究について

■「職場におけるハラスメント実態調査」

目 的	パワハラ防止法施行に合わせて、大阪市在住または在勤者におけるハラスメントの実態を把握し、男女共同参画施策の参考とするとともに、職場における課題を明らかにし、その解決に有効な予防・防止対策を検討する。
調査手法	インターネットによるウェブアンケート調査
調査対象者	調査会社登録モニターより 20 歳～64 歳の大阪市内在住または在勤者の有職男女
調査期間	令和 2 年 12 月 15 日～12 月 18 日
サンプル数	1,008 サンプル(性別・年代で割付)
調査項目	① 回答者のプロフィール ② 職場について ③ ハラスメントの実態 ④ ハラスメント被害・見聞・加害の実態 ⑤ ハラスメント予防・防止策について
調査結果	ハラスメントを受けた経験がある人の割合は 19.5%、見たり聞いたりした人は 23.4%、ハラスメントをした、またはしたと指摘された人は 8.5%という結果であった。いずれの項目も男性の割合が高かった。 ハラスメントを受けた人は、年代では 40 代・50 代男性の割合が最も高く、就業形態では正社員（係長以上の管理職）が最も高い割合となった。 ハラスメントを受けた際の相談先として、職場の上司・先輩が 33.0%と最も高いが、誰にも相談しなかった人も 33.5%と同数の割合を示している。特に、ハラスメントを受けた男性の 40.6%が誰にも相談しておらず、年代が上がるほど相談しない傾向がみられた。 誰にも相談しなかった理由として、「誰に相談してよいのかわからなかった」（19.7%）、「また不快な思いををすると思った」（30.3%）等があった。「相談しても無駄だと思った」（56.1%）人も少なくない。相談窓口が設置されるだけでなく、周知や適正な対応が望まれる結果となった。 ハラスメントによる心身の影響では、ハラスメントを受けた人の半数以上が「仕事のやる気がなくなった」（56.3%）と回答し、「心身に不調をきたした」（43.1%）、「仕事のミスやトラブルが多くなった」（18.3%）と、仕事のモチベーションや生産性の低下といった影響を与えていることが明らかになった。

	ハラスメントを受けた人に対する勤務先の対応は、男女による格差がみられた。発生した際に「勤務先がハラスメントを受けていることを認識していなかった」と回答した人は男性 18.9%、女性 33.0%と、女性が受けたハラスメントの方が明るみに出していない。勤務先が認知した場合でも、その対応があいまいなままだったと回答した人は全体で 55.8%であった。性別でみると、男性 48.8%、女性 65.6%と女性の方が割合が高い。これらの対応は、女性に不均衡な影響を与えており、女性の活躍推進の阻害要因になっていることがわかった。その改善に向けては、ジェンダーに配慮したアプローチが必要であろう。
--	---

(6) その他

ア 政令指定都市男女共同参画センター意見交換会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Zoom によるオンラインで開催した。政令指定都市の男女共同参画センターが「With コロナ、男女共同参画センターの役割・使命とは」、「With コロナ、オンライン事業の現状・成果や課題をシェア」の 2 つのテーマで、事例提供や意見交換を行った。

日程：令和 2 年 12 月 17 日（木） 14:00～17:00 参加：17 都市

イ 自主事業

男女共同参画を推進するクレオ大阪の機能を効果的に発揮し、その認知度や魅力をさらに高めるために、様々な団体とも連携して以下の通り各事業を実施した。

全事業を通しての参加者数は、1,078 人となった。

①自主講座

講座名	事業数	定員 (人)	応募 者数 (人)	受講者数(人)			のべ受講者数(人)		
				女	男	計	女	男	計
キャリア開発・資格取得支援 「カフェ開業チャレンジ講座」等	8	165	136	101	23	124	617	206	823
こころ・からだの健康支援 「機能改善ヨガ」等	6	95	78	57	14	71	199	56	255
合 計	14	260	214	158	37	195	816	262	1,078

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、定員の制限を行い、講座内容(大きな声を出すもの、運動量が多いもの、調理を伴うもの)により開催を見合わせた。

②クレオチャレンジカフェの運営

カフェ開業をめざす女性に期間限定で仕入れや在庫管理、接客、販売などの実務経験を積むための場「チャレンジカフェ」を提供した。年間 2 期(6 か月/1 期)の運営を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4 月～6 月は運営を中止し、7 月～3 月の 1 期運営とした。また、施設利用率の低下でカフェの収益が減少し、運営が困難になったことから、12 月～3 月の利用料を半額にして運営継続を支援した。

26 期：ごはん&Café Coco（筏津智子） 利用者のべ 1,896 人

③ 一時保育事業

自主講座等の参加を促進するために一時保育を設定

保育対象年齢：1 歳～2 歳 800 円、3 歳～就学前 500 円

利用保護者数：13 人 保育児童数：13 人

④啓発

- ・第 11 回イクメン写真コンテスト及び作品展

男性の育児参加促進を目的に、育児をしている男性「イクメン」の写真コンテストを実施した。
作品をクレオ大阪ほか 10 会場で展示し、来館者の投票により入賞作品を決定した。

応募総数：130 点、投票者数：392 名、投票総数：944 票(1 人 3 作品まで)

⑤施設利用者の利便性向上のための事業

- ・交流サロン等事業

館を拠点に活動するグループ等のネットワークを支援し、また利用者の利便に供するため、
コピー機、印刷機、グループロッカーの設置、提供等の事業を行なった。

グループロッカー（有料）利用団体数：6団体

- ・自動販売機設置事業
- ・サーモグラフィカメラ貸出

⑥ガールズ支援事業事業

- ・生きづらさ働きづらさを抱える若年女性支援事業

「自分のことが好きになれなくて、しんどいなあと思うあなたへ～わたしと出会うサロン」
事業体代表者の「女性のチャレンジ支援基金」を活用し、受講料無料で実施した。

①令和 3 年 3 月 3 日 10：00～12：00 受講者数 1 人

②令和 3 年 3 月 20 日 14：00～16：00 受講者数 4 人

ウ 近隣の施設間連携に関する業務

区役所や子育て関連施設、地域団体との情報共有、機能連携等を図った。

エ 視察、見学者等への案内・対応

- ・なし

4. 経費等収支の状況

(1) 収入

収入合計金額 292,300,759 円

【内訳】

指定管理代行料	256,789,000 円
利用料金収入	14,265,550 円
コロナウイルスの影響による補填額	21,246,209 円
(内訳) 利用料金(提案額)と実収入額の差額	17,426,909 円
使用料精算額	3,819,300 円

(2) 支出

支出合計金額 303,859,425 円

【内訳】

人件費	148,495,753 円
事務費	2,495,700 円
施設の管理運営費	48,262,910 円
光熱水費	16,738,701 円
男女共同参画社会の形成の寄与に関する業務	70,693,897 円
(内訳) 情報収集及び提供事業	4,113,452 円
講演会、講習会、研修会等の開催	2,853,166 円
相談事業	57,532,886 円
啓発事業	3,351,402 円
調査及び研究事業	2,842,991 円
その他経費	17,172,464 円

(3) 自主事業収支

収入合計金額 3,180,783 円

【内訳】

参加費(自主講座等)	1,461,148 円
チャレンジカフェ	210,000 円
ワークステーション(コピー・印刷機)	106,635 円
その他(自販機)	1,243,000 円
その他(サーモグラフィカメラ)	160,000 円

支出合計金額 3,305,061 円

【内訳】

人件費	1,962,253 円
講師謝礼	867,802 円
広報費	232,500 円
チャレンジカフェ事業費	106,506 円
ワークステーション(コピー・印刷機等)	136,000 円

5. その他

(1) サービス向上・利用者からの苦情・意見・要望等への対応状況

- ・ご意見箱やご意見メールの活用、利用対象者ごとのアンケートの実施、抽選会参加者アンケート等による利用者のニーズ把握
- ・施設運営について、施設利用者やフェスタ参加者に「クレオ大阪に関するアンケート」の実施

○クレオ大阪が「男女共同参画社会の実現をめざす」ための大阪市の拠点施設であることをご存知ですか？

	知っている（知っていた）	知らない（知らなかった）	合計
施設利用者（N=97）	88（90.7%）	9（9.3%）	97
フェスタ参加者（N=233）	144（61.8%）	89（38.2%）	233
合 計	232（70.3%）	98（29.7%）	330

フェスタ参加者では、イベントをきっかけに来館し、38%の方が男女共同参画の拠点施設であることを認知したことがうかがえた。

(2) 管理経費縮減への取り組み状況

- ・電力およびガスの需給契約について競争的手法による事業者の選定を行い、指定管理期間中の管理経費の縮減を行った。
- ・電力需給契約に付加価値サービスとして省エネ実践サービスを付加することで、継続した省エネの取り組みを実践し、料金単価上昇時のリスク軽減とエネルギーコストの削減を図った。
- ・将来的な管理経費の削減と省エネ化を実現するため、常時点灯している共用部および諸室の照明設備を全てLED照明設備に更新する工事を行った結果、上記2点の管理経費縮減の取り組みとあわせて、中央館の光熱水費予算総額から726万円の経費削減を実現した。大阪市と指定管理者との協定で規定する指定管理者の業務範囲を超える工事規模ではあったが、大阪市の施設としての価値を高めるとともに、継続的な管理経費の削減により、老朽化が進む施設の修繕補修経費の有効活用につなげることができた。
- ・省エネルギーを推進し光熱水費の削減を図るため、指定管理者が所有するデマンドコントローラーを活用し、電気使用量の抑制管理を行った。
- ・コラボ型セミナーやギャラリー活用事業など、施設機能を活かしながら、職員がコーディネートを行い、施設・事業運営の一体化や効率化を図った。
- ・設備維持管理業務について、施設運営と保守業務の専門性を持つ事業体構成員の強みを活かして、緊急度・重要度の高い維持補修など、効果的で効率的な維持管理を行った。

(3) 個人情報保護への取り組み状況

- ・プライバシーポリシー及び情報セキュリティ対策基準の運用など、情報管理体制の強化に努めた。

(4) 主催研修・訓練等実績

- ・施設の管理運営に関する基礎研修
 - 消防訓練
 - 接遇研修
 - コミュニケーション研修
 - 廃棄物管理責任者講習会 等
- ・男女共同参画に関する研修
 - 男女共同参画研修
 - 相談員研修 等
- ・人権研修

- ハラスメント研修
- 企業のためのメンタルヘルス対策セミナー 等
- ・コンプライアンス研修
- 個人情報保護研修
- ・その他専門研修
- 新入職員、キャリア研修
- リーダー研修
- SNS・広報研修
- IT スキル研修 等

(5) 環境への取組み

- ・大阪市の施策に従って「廃棄物の減量推進及び適正処理に関する計画」を作成届出し、館内ごみ箱の撤去、リサイクル資源の回収ボックスの設置などの継続的な取組みを実施
- ・電力需給契約に付加した省エネ実践サービスによる継続した省エネルギーの実践
- ・共用部および諸室の照明設備を全て LED 化することによる省エネルギーの実践
- ・デマンドコントローラーによる電力使用量の監視
- ・採光の有効利用による消灯の徹底

(6) システム移行への対応について

システム（施設・講座）の移行にともない、利用者に支障をきたすことのないよう、大阪市と連携・協力して、動作の検証をおこなった。